

大学名

筑波技術大学 (保健科学部、障害者高等教育研究支援センター)

第69号 特集テーマ「国立大学のこれから」

表題

視覚障害生徒のための教育支援とキャリア形成に関する高大接続プロジェクト

概要

全国の一般高校の教員を対象とした視覚障害を有する生徒への学習支援と進学に関するオンラインシンポジウムを実施。視覚障害を有する生徒への学習支援方法の解説や卒業後のキャリア形成について本学卒業生等を事例に紹介し、視覚障害を有する生徒を取り巻く現状や課題について協議する。

背景

- ・一般高校の8割が現在または過去に視覚障害を有する生徒が在籍している。
- ・視覚障害を有する生徒への学習支援のニーズに学校の環境や設備が追いついていない。
- ・一般高校の7割が障害のある学生が充実した学生生活を送る上で、高校と大学の連携が必要と認識している。

目的

視覚障害学生の学習支援において多大な実績を有し、また支援方法及び支援機器に関する情報の発信拠点である本学の強みを活かし、一般高校に在籍する視覚障害生徒の潜在能力を顕在化させる。そのために、教育的支援やキャリア形成の実践事例等について情報提供しながら、視覚障害教育分野における高大接続のあり方についても協議し、ひいては一般高校等の関連施設との将来的な連携フレームを構築する。

筑波技術大学 春日キャンパスの強みを活かす！

01

視覚障害を有する学生のためのキャンパスとして、開学以降、弱視から全盲まで様々な見え方の視覚障害学生に講義や実習での教育・指導を実施

02

視覚障害を有する学生が在籍する大学に対して視覚障害補償に関する情報発信や学習方法の支援を実施

03

視覚障害教育に関する研究の推進や視覚障害補償に関する支援機器の開発を実施

本プロジェクトの実施により得られることが見込まれる成果・効果

- (1) 視覚障害生徒の障害補償支援の拡充を図り、キャリア形成の促進に寄与
- (2) 本プロジェクトの活動を通じて視覚障害教育の理解に繋げる
- (3) 視覚障害学生キャリア支援ネットワーク(仮称)設立に向けた連携の構築の推進や基礎資料の収集

一般高校の課題解決に向けた取組み

- ・支援方法や支援機器に関する情報発信
- ・視覚障害教育に関する支援・相談
- ・キャリア形成の実践事例紹介

視覚障害学生キャリア支援ネットワーク(仮称)設立の将来的構想イメージ Visually Impaired Student Career Support Network (VISS-net)

